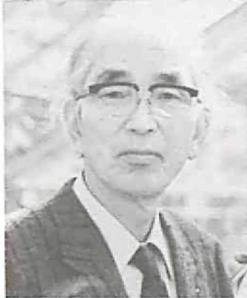


# 非常識なゴルフ場乱開発

—新潟市にはゴルフ場より公園を—

萩屋 薫



日本は今すさまじい勢いでゴルフ場開発ラッシュが続いている。現在日本には1588のゴルフ場があるが、その他に目下造成中のもの 200以上、計画中のもの 350。これらを合すると2000にも達するという。新潟県内でも既設のゴルフ場は30、造成中のものも、計画中のもの約50、合計90ものゴルフ場ができることになる。この狭い日本の国土にこんなにもたくさんのゴルフ場が必要なのだろうか。計算はしたことがないが、国土面積当りのゴルフ場の数は、恐らく世界でも最も多いのではなかろうか。何故こんな非常識なゴルフ場造成が進められているのか、皆で考えて見る必要がある。

それは日本がお金持ちになって、ゴルフ人口が増え、近い将来ゴルフ場が足りなくなるからだという見通しからではなく、ゴルフ場造成が金もうけになり、投資の対象としてうまい味があるとふんで、企業や個人が目をつけているからである。

竹下内閣は故里創生の名のもとに、地域おこしの呼び水にさせようと、一市町村当り1億円を全国の自治体 3,300にばらまいた。またそれだけでは足りないと、総合保養地整備法（いわゆるリゾート法）なるものを制定した。これは森林や国土の保全を保つためにあった国土法の規制のタガをはずし、地域開発をしやすくするためである。またこのリゾート法は折柄の金余り現象

と、民間活力の利用をもねらったものでもある。これと言って地域おこしの名案を持たない市町村では、一番手っ取り早い方法として、ゴルフ場でも作れば人が集まるだろう。人が集まれば、おらが町は活性化するだろうと、安易に考えて、一番手っ取り早い方法として我も我もとゴルフ場造成に名乗りを上げたし、儲かれば何にでも食いつくエコノミックアニマルの素性を丸出しにして、企業もそれに食いついたというわけである。

日本ではゴルフ場一つ作るのに、土地代も含めて百億円もかかるというので、ほとんどが会員制になっている。そしてその会員権は2～3千万円もするが、どんどん値上りするので、割のいい投資の対象になり、法人や個人が会員権を買いあさり、リクルート事件と同じように、未公開の会員権が闇に流れるという話も聞く。

私は先年オーストラリアを旅した時、ちょっと時間があると言うので、友人はホテルの近くにあるゴルフ場に出かけた。2時間ほど遊んで来た彼は、「驚いたねえ、日本では2万円はかかると言っていたよ」と言って上機嫌であった。ゴルフをやったことの無い私には、日本のゴルフというスポーツがいかに異常なものであるかを見せつけられる思いであった。

ゴルフ場のルーツはイギリスのスコットランドの牧場で、牧童達が石を転がして遊んでいたのが、スポーツとして発達したと言われている。だからゴルフ場は牧場と関係が深く、芝生には牧草が使われている。牧草は元来ムギと同じように、雨の少ない冷涼な気候帯の植物だから、日本のように降水量が多く、夏の暑いモンスーン地帯では

生育し難く、雑草に負けてしまって、余程手入れをしないと芝生を維持することはできない。日本で放牧による畜産が発達しなかった原因の一つはここにある。畜産の盛んな国々では、ゴルフ場は放牧地並の管理で足りるのに、牧草の生育に適さない日本では、球が具合良く転がるような芝生を維持するためには、常に刈込まなければならないし、病気や害虫、更には雑草が繁茂するので、大量の殺菌剤、殺虫剤、除草剤、肥料など薬づけの栽培状態にしないと維持できないのである。

野菜や穀類など直接人間が食べる農作物に対しては、農薬としての厳しい規制があるが、ゴルフ場にはその規制があてはまらないので、実際には農作物の3～4倍の農薬や肥料がゴルフ場には撒かれている。だからゴルフ場は一見緑の芝生でおおわれ、樹々も茂っているのが、実はここに投下された莫大な農薬や肥料は、河川に流れ込んだり、地下に浸透して土地や地下水を汚染するし、気化した農薬成分は大気をも汚染し周辺の人々の生活環境を害し、動物や虫や微生物も住めなくなり、自然の生態系をも破壊する。その心配は現に各地のゴルフ場に現れはじめている。そればかりでなく、ゴルフ場開発によって森林が失なわれると、自然災害も発生しやすくなるのである。

ところで現在新潟市では、太夫浜にゴルフ場の造成計画が進められ、住民の反対運動に合って大きな問題になっている。この土地は東港開発局長談として新潟日報の報ずるところによると、「東港開発計画の見直しで、宙に浮いた不用代替地」とであると説明しているが、新潟市周辺に76haものまとまった公有地があり、それを不用地だと認

識している当局者の非常識さには全くあきれる。

新潟市は「緑の少ない砂漠都市」と指摘されて20年以上になる。そして新潟市民が求めている要望の第一位は今なお公園や緑地がほしいということである。新潟市がいかに緑が少ないかは、各都市の市民一人当たりの公園面積を比較すればはっきりわかる。次の表はそ

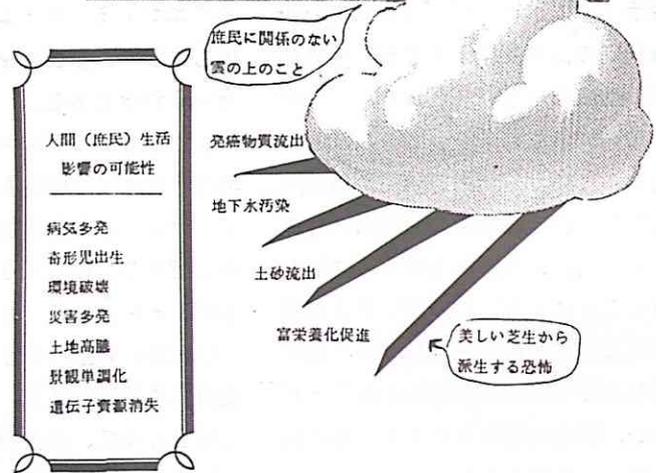
れを示したものである。我が新潟は日本最低の面積である。ということは先進国中の最低だというわけだ。具体的に言うと、休みの日に市民が皆公園にかけたら、フトン一枚の面積しか割当らないということである。私はこれまで新潟市の緑の不足を訴え続けてきたが、当局は公園にするような土地が無いからとの返事ばかりを繰返してき

た。県や市の当局者は、このような新潟市民の公園や緑地帯を求める熱き思いを全く無視して、事もあるに公有地を環境の破壊や汚染につながるゴルフ場として、悪名高いカネの盲者の企業に却い下げたことは全く了認できないことである。市民の皆様には事の重大さに気付いて、是非ゴルフ場反対運動に立ち上っていただきたい。

(はぎや かおる 新潟大学名誉教授)

**市民一人当たりの公園面積の比較 (㎡)**

新潟市	1.76	クライストチャーチ	72.6
仙台市	5.03	(ニュージーランド)	
千葉市	4.57	ボン	37.4
金沢市	6.01	(西ドイツ)	
岐阜市	4.37	ロスアンジェルス	21.5
静岡市	2.93	(アメリカ)	
姫路市	4.64	パリ	12.2
和歌山市	3.76	(フランス)	
岡山市	4.31	シンガポール	7.2
倉敷市	3.80	(シンガポール)	
松山市	3.47	東京	2.2
長崎市	3.68	(日本)	



**各地より届いた初春のおたより**

…期待 と つぶやき…

津南町は、今ゴルフ場開発で大もめです。リゾートなら何をやってもいいという考えには、悔しいです。津南町 R.O.

急がれる開発の阻止、市民が自然の価値に目覚めるよう啓蒙にお力をください。新潟市 K.M.

近年新潟県内の貴重な植物が失われつつあるとのことで心配しております。あれほど多かったスハマソウも今はかなり減ってしまったらしいですね。自然環境の保護の必要を痛感しています。浜松市 K.H.

近年我家の庭に猿や狸が現われ、果物を荒らします。彼等との平和共存はむずかしいですね。千葉県 和田町 K.Y.